

## 令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 朝陽学院

あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・子ども達がのびのびと育っていくような偏りのないカリキュラムのもと、基礎・基本の力を培い、友達との触れ合いの中で、心温かい心身共に健康な人格形成に努める。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標

- ・ 基本的生活習慣の徹底
- ・ 豊かな感性や創造性を培う
- ・ 運動能力の向上
- ・ 遊びや経験、異年齢との関わりを通して、思いやりの心を育てる
- ・ 健康、安全教育の充実

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	【教育課程・指導】 ・意欲的に身体を動かして遊ぶ環境の構成を行う	A	・ 幼児の興味、関心に応じた遊びや活動を取り入れ、多様な経験ができるようにした。 ・ 何度も繰り返したりチャレンジしたりするようになった。
2	【安全管理】 ・安全点検や安全対応力を高める	A	・ 消防と連携し、救命講習や避難訓練を実施し、緊急時の対応を身につけることができた。 ・ 道具や遊具の正しい使い方を守って遊ぶようになった。
3	【特別支援教育】 ・特別支援教育の実施と園内支援体制	A	・ 個々の幼児の発達の特性を捉えた個別の指導計画、個別の教育支援計画を作成した。 ・ 幼児の特性の共通理解を図り、全教職員で情報を共有し、学び合う姿が見られるようになった。
4	【教育目標・学校評価】 ・保護者や地域のニーズを捉える	C	・ 保護者アンケートの回答率に大きな変化は見られなかった。 令和5年度末 38%→令和6年度1学期 44%→2学期 42%→3学期 47%

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	幼児一人ひとりが自己発揮できるための指導や、意欲的に遊びを進めるための環境の構成、多様な経験を意識した幼稚園活動を行うことで、より目標に合った指導を明確に行うことができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育環境整備	遊具や用具に関する新しい情報を得て、遊具や用具、道具の改善を図る
2	預かり保育	預かり保育に適した遊びや教材を準備し、空間や場を整える
3	情報提供	個人情報管理場所を明確にし、管理を確実にを行う
4	教育目標・学校評価	保護者のニーズを捉えるため、工夫して告知する

## 6. 学校関係者評価委員による評価

教育目標通り、子どもたちがのびのびと育っており、芸術や運動に関しては特に目標を達成していると感じる。また、何事も必ずアップデートされた園活動になっていた。今後、さらにより良い幼稚園となるよう、課題に対する取り組みの他、保育室内の玩具や絵本の見直しに期待したい。